

自民党

京都市会議員団ニュース

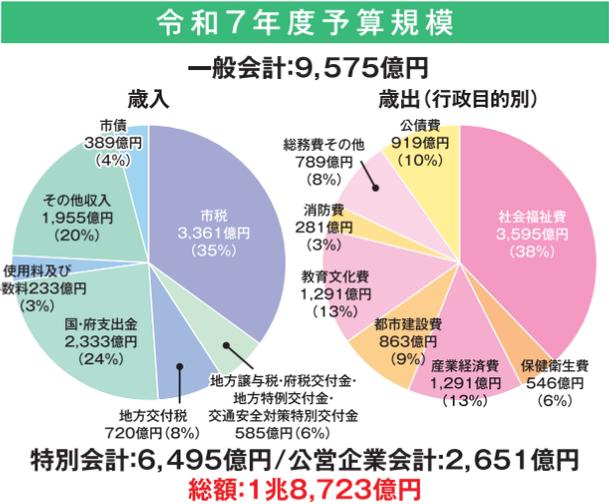
No.86

令和7年(2025)3月29日発行

発行人/橋村 芳和 編集委員/平山たかお、谷口みゆき、山本しゅうじ 〒604-8571 京都市中京区河原町御池TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091 https://jimin-kyoto.jp/

松井市長就任後初の通年予算編成!! 令和7年度予算概要について

すべての人に「居場所」と「出番」がある「突き抜ける世界都市 京都」の実現に向けた本格予算!福祉・健康・医療や教育・子育て環境の充実、包括性の高いまちづくり、京都経済を支える地域企業等の下支え、市民のいのち・暮らしの安心安全など、市民生活を守るという姿勢を基本に、都市全体の魅力や活力を向上させ、新たな京都を切り拓き、市役所・区役所が「結節点」として市民、企業、大学などと繋がりを深め、社会総がかりで共に課題の解決に協働して、京都の未来を創造していこうとする基本姿勢で取り組まれる予算です。



- ### 具体的施策
- 【市民生活を守る施策の強化】**
 - 救急隊増隊をはじめとする市民の安心安全対策
 - 健診機会の充実などの一人一人の健康づくり等
 - 【人口減少課題に対応】**
 - 第2子以降保育料無償化などの子育て負担の軽減
 - 京都安心すまい応援金の充実、公園の魅力アップ等
 - 【京都の価値・強みを活かした先導的・挑戦的な取組】**
 - 世界と社会にインパクトを与えるスタートアップの創出
 - 区役所と学校の協働の下、地域課題の解決を目指す取組等

やむにやまれぬ、国民健康保険料値上げ

京都市は従前からかなり頑張ってきたが、昨今の情勢を踏まえやむを得ない。

今市会で、国民健康保険料の値上げに関する議案が提出され、可決されました。国民健康保険料の値上げを可決するなど、けしからんとのお声があるのも承知しています。もちろん、私たち自民党市議団も保険料の値上げなど、本音ではしたくありません。当たり前です。ただ、一方で、国民健康保険料を今ここで値上げしなければ、国民健康保険事業そのものが制度破綻をしてしまう現状だということはお伝えしなければいけません。制度破綻させないための今回の制度改革であるのです。

国民健康保険は、そもそもが相互扶助で取り組むべきもの。すなわち、加入者の保険料で賄わなくてはなりません。ただ、これまで、京都市は市民生活に大きな影響があるなどの理由で一般財源などを投入し、全国20ある政令指定都市の中でも、最低水準の保険料、加えて、京都府内の自治体の中でも、最低水準で維持してきたわけです。ただ、京都府から国民健康保険事業に伴う負担金の増大を求められています。加えて、これまで国民健康保険料事業における基金などもすべて取り崩すまで何とか維持してきたのが現状です。

ちなみに、京都市内での国民健康保険への加入者は25万人余りと市民の約2割。

ここに145万市民全体の予算でもある一般財源(令和7年度予算約99億円)の投入をこれ以上しても良いのか。全国的に比較しても、最低水準に抑えてきた保険料をこのまま据え置いて、国民健康保険制度を維持することができるのか。そのような事を総合的に鑑み、今回の制度改革議案に賛成をしたのが我が党の考え方です。一方で、国民健康保険事業の運営主体は市町村。今の人口減少、少子高齢化社会において、これまで通りの制度運営で果たして持続可能な制度たり得るのか。そのあたりは国に対し、国民健康保険事業の抜本的な見直しも含め、私たちは申し入れていきたいと考えています。「政治家の役割とは一体何であるのか。勇気と真心を持って、真実、事実を語る」とは石破茂総理大臣の言葉。私たち自由民主党京都市会議員団は、市民の皆様、時に耳の痛い政策であっても、「勇気と真心を持って、しっかりと真実、事実を語りかけなくてはならない」と考えています。どうか、今回の制度改革に、皆様のご理解を賜ります事をお願い申し上げます。



シン(新)・宿泊税について

本市の宿泊税は「国際文化観光都市としての魅力向上」と「観光の振興」に活用され、京都の「まち柄」を後世につなぐ貴重な独自財源として、観光振興はもとより、文化・景観など京都固有の魅力の向上を通じて、『観光特急バス』の導

入や『無電柱化』『観光トイレの新設』など、市民と観光客双方の満足度向上に貢献してきました。見直し案によると、令和5年度は52億円であった税収額が、約126億円に倍増される見込みであり、市民生活と観光の更なる調和・両立を図るため、観光課題対策はもとより、観光が市民生活の豊かさにつながることで実感できる施策の推進に期待が高まります。今後も検討・研究を重ね、5年後の見直し等によって、「市民・観光客・事業者三者の満足度が高く、新たな魅力や価値の創造等にもつながる持続可能な観光」を実現に向けて尽力して参ります。

令和8年3月から適用予定の改正条例案
*改正案における試算(令和6年度実績見込みベース)

宿泊料金(1人1泊につき)	税率		人数*	税収*
	現行	改正案		
6,000円未満	200円	200円	13.7%	5.6%
6,000円以上20,000円未満		400円	79.1%	65.0%
20,000円以上50,000円未満	500円	1,000円	5.7%	11.8%
50,000円以上100,000円未満		4,000円	0.8%	6.9%
100,000円以上	1,000円	10,000円	0.5%	10.6%



CONTENTS

- 1面
 - 松井市長就任後初の通年予算編成!! 令和7年度予算概要について
 - やむにやまれぬ、国民健康保険料値上げ
 - シン(新)・宿泊税について
- 2面・3面
 - 市民の声を市政へ届ける!!
 - 代表質疑
- 4面
 - トピックス
 - 松井市長就任後初の本格通年予算(令和7年度)について

AI社会におけるデジタルの活用とデジタルデトックスへの適切な対応を!



中京区
津田 大三



- 津田大三議員の質問項目
- 1 新京都戦略について
 - 2 令和7年度予算について
 - 3 人口減少対策について
 - 4 AI社会におけるデジタルデトックスについて
 - 5 防災・減災対策について
 - 6 ウィングス京都の今後のあり方について

津田議員 Q 令和7年度予算は、今年度中に策定される新京都戦略と運動した予算。これまでと同様の単年度予算なのか。様々な複合的要素を鑑み議論をすべきか。戦略に掲げた取組を磨き上げ、毎年の予算編成で推進事業を定め、市会と議論すると。では、どのように推進事業を定めたのか、予算に込めた思いと、「突き抜ける世界都市京都」の実現に向けた決意を伺います。

松井市長 A 様々な方との対話や「新京都戦略」の策定過程で再認識した諸課題の解決のためには迅速な対応が極めて肝要です。御指摘の成長型経済への移行や持続的な発展のために、喫緊の人口減少課題への対応に加え、京都の価値・強みを活かした先導的・挑戦的な取組を充実しております。今予算は、ホップ・ステップ・ジャンプの、ステップ。新京都戦略に掲げる施策を磨き上げ、「突き抜ける世



界都市京都」の実現を目指します。
津田議員 Q 最近、デジタルデトックスという言葉を目にします。これはデジタルによる、スマホ依存や社会的不安、健康被害の発生によって、使われだした言葉です。デジタルデトックスは、デジタルを完全に手放して生きるものではありません。今を生きるにはAIやデジタルは不可欠です。過度な使用が人間を幸せにするかは疑問です。デジタルは本来的に0と1の羅列、分類や近似値などを当てはめるのは得意。言い換えれば、近い思考を同じ思考へと導き、同一化します。これは結果的に分断を生みかねません。だからこそ一定の距離を保つべきです。人間が生み出した道具には全て功罪があります。デジタルの活用とデジタルデトックスへの対応を求めますが、いかがでしょうか。

松井市長 A 本市では、「京都市DX推進のための基本方針」に掲げる「誰一人取り残さないデジタル社会」の実現に全市を挙げて取り組んできました。一方、児童・生徒や保護者を対象に、スマホ等の利用による危険性・依存性から子どもを守るため「情報モラル講座・教室」等を実施してきました。デジタル以外の価値も重要との認識のもと、デジタルデトックスの観点をもち、利便性、安心安全、豊かさ、快適さを実感できるデジタル社会を目指します。



市民の声を
市政へ届ける!!

代表質疑

松井市長に
自民党議員が問う!

2月
市会
2月26日・27日

西京極総合運動公園の大規模整備で多くの人が集まり賑わう空間へ!



右京区
田中たかのり



- 田中たかのり議員の質問項目
- 1 働き手不足問題への対応や就職氷河期世代の抱える課題を踏まえた次期長期ビジョンのあり方
 - 2 「西京極スポーツシティ構想」を掲げ、西京極総合運動公園の大規模整備
 - 3 ゲームを楽しむかのように地域コミュニティに参加を促す仕組みの構築など
 - 4 3歳までの子育て環境の拡充
 - 5 厳しい選択を迫られた国民健康保険
 - 6 七条通・葛野西通の拡幅の課題と今後の進め方

田中議員 Q 西京極総合運動公園の周辺地域の課題解決(西京極駅のホームドア設置など)や賑わい創出のためには、公園を多くの人が集まる空間に再構築する必要があります。

今年度に整備・活用方針案を策定されますが、再整備にあたっては「多機能複合型施設」を核とした公園整備が必要と考えますがいかがでしょうか。

松井市長 A 民間事業者から、公園やまちの活性化の観点で、飲食店やスポーツ関連の店舗の設置、施設の建替え、民間投資など大胆な御意見も頂いています。来年度は、スポーツとまちづ



くりが融合した、魅力あふれる公園の将来像を具体化した「西京極総合運動公園等機能改革計画(仮称)」を策定するとともに、遊具等によるキッズエリアも整備し、子育て世帯など多様な人で賑わう公園づくりに全力で取り組みます。

田中議員 Q 様々な課題を抱える地域コミュニティの再構築に向けた新たな取組として、①地域活動にポイントを付与し、やりがいを感じて頂く工夫、②空き家を活用した、人が集まり情報交換できる拠点作りが必要と考えますがいかがでしょうか。

松井市長 A ①つながりや交流を促す地域活動ポイントについては、地域通貨に取り組み企業等を積極的に紹介するなど、楽しみながら地域活動を行う仕組みを検討します。②地域の人が集まり情報交換できる場づくりについては、学校や公園といった公共施設の活用に加え、空き家なども視野に入れて取組を進めます。

田中議員 Q 子育ての一番大変な時期は3歳まで。藤本美貴さんをはじめ多くの方が言われています。子育てで大切なのは、経済的支援だけでなく、孤独を感じさせない精神的な支えです。助産師や保育士など子育てをサポートする人材の更なる活用の検討を求めます。

吉田副市長 A 本市では、母親の心身のケアや育児サポートを行う「スマイルママ・ホット事業」のほか、区役所支所において切れ目のない相談支援を行っています。今後も、若者・子育て世代から選ばれるまち京都を目指して、関係団体や地域の皆様と共に、子育て環境の充実に取り組みます。

第二子以降の保育料無償化を実現し今後若者の市外流出をいかに防ぐか!



伏見区
みちはた弘之



- みちはた弘之議員の質問項目
- 1 市バス・地下鉄事業の経営について
・市民優先価格について・市バス・地下鉄のキャッシュレス化について
 - 2 上下水道事業の経営について
 - 3 若者の市外流出対策と第2子以降の保育料無償化について
 - 4 宿泊税を活用した観光振興、観光と市民生活の調和について
 - 5 京都市立中学校の学力向上に向けた教育環境の充実及び教育活動の推進について
 - 6 脱炭素社会の実現に向けた取組について
 - 7 桃陵市営住宅における団地再生事業について

みちはた議員 Q 市バス・地下鉄の維持に向けた市長の決意、市民優先価格導入の課題解決状況、宿泊税を活用したキャッシュレス化の今後の進め方について、お考えを伺います。

松井市長 A 市バス・地下鉄事業は、物価高騰や担い手不足により厳しい経営環境にあります。丸鳥線の可動式ホーム柵設置やキャッシュレス化の推進のため、宿泊税を活用し一般会計から支援します。市民優先価格は、市民生活の向上を目的に運賃体系やバス路線の見直しも含めた検討を進め、令和9年度中の実現を目指します。キャッシュレス化も同年度に導入予定。持続可能で利便性の高い市バス・地下鉄の実現に向け、引き続き取り組んでまいります。

みちはた議員 Q 第2子以降の保育料無償化に踏み切った市長の思い、若者の市外流出をどのように防ぐか、お考えを伺います。

松井市長 A 若者や働き盛り世代の流出抑制を重視し、京都が「住み動く価値のある都市」となることを目指します。少子化対策については、第2子以降の保育料無

償化に加え、子育て世帯の住宅支援や公園整備など総合的な支援を推進します。また、スタートアップ支援の強化や企業誘致の拡充を通じ、国内外の人材が京都に集い、新たな価値を創出できる「突き抜ける世界都市」としての求心力向上を図り、未来に向けた施策を進めてまいります。

みちはた議員 Q 桃陵市営住宅における団地再生事業について、これまでの取組を含め、今後どのようにこの事業を進めていくのか、お考えを伺います。

竹内副市長 A 桃陵市営住宅の団地再生事業については、市民アンケートを実施し、地元の皆様のご意見を頂戴しながら、入居者の安心安全や住環境改善、地域の活性化等に取り組んでいます。現在、「検討委員会」において、地域活性化や福祉向上など、持続可能なまちづくりを目指し、PFI手法による民間活力の導入手法等を検討しており、令和7年度に事業者を決定、令和8年度以降に着手予定です。今後も地域の意見を踏まえ、多世代が交流できる場を創出し、市全体の活性化につながるよう、取り組んでまいります。



あらゆる世代の活躍推進・就業支援・働き方改革について



北区
谷口みゆき



- 谷口みゆき議員の質問項目
- 1 あらゆる世代の様々な働き方や居場所づくりの支援について
・あらゆる世代の活躍促進・就業支援・働き方改革について
・女性特有の健康上の問題に関する理解を促進する健康経営の推進について
・困難を抱える若年女性の支援について
・京都市はぐくみプランにおける若者の居場所づくりについて
 - 2 ケアラーを地域社会全体で支えるまちづくりについて
 - 3 地域との協働による学校づくりについて
 - 4 自主防災について
 - 5 金閣寺バス停の混雑解消について

谷口議員 Q 出産や育児による離職後、自分のスキルを活かした仕事に復帰したい方、ケアラーや65歳以上の方など、多様な担い手の活躍推進に取り組んでいた

松井市長 A 働きたいという意欲に応える仕組みが必要と考えます。就労・マッチング支援を行うプラットフォームを新たに設置し、誰もが自分らしく生きがいを持って活躍し地域企業を支える力となつていただけるよう取り組んでまいります。

谷口議員 Q 経済産業省によると、女性特有の健康課題による経済損失は、社会全体で年間約3.4兆円と推計されています。最近では、女性の健康問題について、先進的な技術で解決を図る、



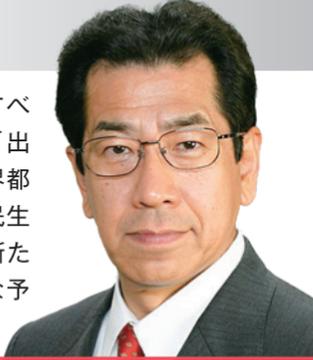
フェムテック技術・サービスを活用している企業も始めています。企業のリーダーシップと従業員の意識改革を両輪として進めることができるよう行政からの働き掛けが必要と考えますがいかがでしょうか。

松井市長 A 企業等の成長に寄与する健康経営には、官民一体で取り組む必要があります。本市では、経営者や従業員の意識改革に向けた企業向けの情報発信や、「輝く女性応援京都会議」における女性活躍の加速化に取り組んでいます。今後とも、女性の健康問題への理解促進、誰もが活躍できる職場づくりに取り組んでまいります。

谷口議員 Q ケアラーを地域全体で支える社会実現には、幅広い人々を巻き込んだ市民ぐるみの運動としていく必要があると考えます。条例に基づくケアラー支援計画の策定も含め、今後のケアラー支援の方向性について、どのように取り組んでいくのかお尋ねします。

松井市長 A 来年度早期に、当事者や支援団体等で構成する協議会を新たに設置し、市民レベルで支援の輪を広げていく仕組みづくりを進めます。また、保健福祉局内に司令塔となる「福祉のまちづくり推進室」を新たに設置し、これらの連携のもとで、支援計画を策定し、地域全体でケアラーを支えるまちづくりを推進してまいります。

山科区 **富きくお**



攻めの都市経営予算で、すべての人々に「居場所」と「出番」がある「突き抜ける世界都市」を実現するために、市民生活を守り、人口減少対策・新たな京都への挑戦等、果敢な予算編成!

山科区 **山本しゅうじ**



新京都戦略を推進し、輝かしい京都の未来を切り拓くため、市長の信念と決意が込められた予算案。大いに共感するとともに、華々しい事業のみならず市民本位の施策の充実にも力を尽くします。

下京区 **下村あきら**



第2子以降の保育料無償化などの子育て環境充実や、救急隊増隊をはじめとする市民の安心安全対策など、市民生活第一を徹底した予算により、豊かな市民生活を実現します。

南区 **椋田隆知**



市民の生活を守る政策を基本として、本市の歴史によって培われた伝統・文化が豊かな土壌や、数多くある将来の可能性・発展性を活かして、『選ばれる唯一無二のまち京都』へ、更に一層前進!!

南区 **しまもと京司**



昨年の代表質問での「都市ストックの効果的活用と市民経済に資する施策、公共投資、人材への投資を!」にしっかりと呼応。攻めの都市経営として進化させた「新京都戦略」を強力推進。

右京区 **田中たかのり**



限りある財源を活用し、これまでの取組と新たな挑戦で市民のくらしに責任を果たすものである。今後、豊かな人材(市民の力)を最大限に引き出し、京都の魅力向上のため取り組んで行く。

右京区 **森田 守**



収支均衡を継続することで将来負担の軽減を図りつつ、市民生活を守り、喫緊の課題である人口減少に対する取組を進め、京都が世界に突き抜ける都市となるための予算となっています。

トピックス

松井市長就任後初の本格通年予算(令和7年度)について

右京区 **井上よしひろ**



市民の皆様の御意見などを踏まえ、令和9年度までに取り組む政策、財政等の方針を示す新京都戦略を策定。同戦略に基づいた、京都が誇る地域力の更なる進化、市民生活の豊かさ向上につながる予算編成です。

西京区 **田中明秀**



何よりも市民生活第一を徹底のうえ、更なる歳入の確保と人口減少対策、子育て支援、観光課題対策等に目を向け、京都の伝統・文化・芸術継承で唯一無二のまちを実現するための松井カラー予算。

西京区 **西村義直**



144万人が生活するに相応しい予算となるよう努めていかなければなりません。地域活性化や更なる福祉の向上を目指した政策が市民の皆様にもご理解、ご協力がいただけるよう尽力致します。

伏見区 **橋村芳和**



『meetus山科・醍醐』の推進に向けた予算計上を評価。東部クリーンセンター跡地活用等で、市内東部地域を『日出づる処(まち)』に!京都版シリコンバレー構想等、京都経済の振興は伏見区から!

伏見区 **みちはた弘之**



「突き抜ける世界都市 京都」を目指し、市民生活の充実、経済成長、文化・観光振興、環境・防災対策を推進のほか、福祉、教育、DX、脱炭素、企業誘致を進め、持続可能な都市経営の実現に向け、真摯に取り組みます。

北区 **山本 恵一**



松井市長の目指す市政運営が示された予算案。二元代表制の一翼を担う市会として、市民の安心・安全を第一に、更なるまちの活性化や豊かな市民生活に向け、全力で役割を果たしていく。

北区 **谷口みゆき**



市民生活を守る施策の強化、子育て世帯の負担軽減や教育の充実、地域課題の解決を目指す取組は将来の京都市の価値を高めるためには重要なことです。皆様のお声を大切に推進して参ります。

上京区 **寺田一博**



市長選挙で市民の皆さんに約束された第2子以降保育料無償化などの子育て支援強化や、企業誘致による若い世代の定住策に加えて、「ゼロ予算」の取組など、松井カラーを受け止め審議を尽くします。

左京区 **さくらい泰広**



新京都戦略政策集の中の6つの柱のうち、「安心安全で災害に強いレジリエントな町」、この取組は重要です。予算に計上された防災減災のための都市基盤整備の着実な実施を望みます。

中京区 **津田大三**



新京都戦略という中期計画と連動する予算であり、新たな取組。今後策定予定の長期ビジョンとの整合性や財政状況などの分かりやすい発信が肝要。時代のフェーズに合わせた取組に期待。

中京区 **加藤昌洋**



過去負債の確実な返済と将来への投資が盛り込まれた予算となりました。一方で、バス・地下鉄、上下水道の予算は厳しい見通しとなっています。持続可能な京都市に向けて議論を続けます。

東山区 **平山たかお**



松井カラーが随所に散りばめられた予算。宿泊税の使い道の「見える化」、市バスなどの市民優先価格の一刻も早い実現など、観光の果実が市民の皆様にと行き渡るよう尽力したい。